

2023/02/16

後輩の皆さんに伝えたいこと

6年C組 丹羽桃子

聖書：ヨシヤ記 1章9節 (旧約聖書 340頁)

おはようございます。6年C組の丹羽桃子です。高3になってから後輩の皆さんと関わる機会が減って寂しかったので、こうして卒業前に会うことができ、とても嬉しいです。今日は英和で過ごした中で、気づいたことをお話ししたいと思います。

「神様が導いてくださった」「神様のご計画」この言葉は英和生なら聞いたことがあると思います。しかし私は、自分のことは自分で決めてきたと思っていました。はっきりした性格のため、特に深刻な悩みもなく生きてきましたが、世の中には自分の意思ではどうにもならないこともあります。例えば、新型コロナウイルスです。高校生活が始まると同時に、多くの学校行事が変更、または中止を余儀なくされ、部活や生徒会の仕事など、例年通りやることはできませんでした。「思っていた高校生活じゃない。なんで私たちの世代がこんな思いをするのか」1人の時や夜になると気持ちが沈んで、悩んでは答えの出ない日々が続きました。こんな思考をする自分にも嫌気が差して、マスクの中の表情は少し暗かったように思います。

そんな私を支えてくれたのが曲の歌詞です。「太く長く行こう人生まあ生きてりゃ色々あるけれど」「これが人生私の人生あたらふく味わいたい」コロナ禍以前から聴いていた曲なのにいつもと違う感覚に襲われました。まだ高校生だし、人生は長い。私だけの人生だからこれもすべて味わおう！逆に、今苦しい思いをしているからこの先は大丈夫かも、と思えるようになりました。今では、苦しい過去も人生の一つのスパイスだ、と楽観的に物事を見ることができるようになりました。私が歌詞に救われたように、皆さんにもそれぞれ支えになるものがあるといいな、と思っています。

他にも皆さんに覚えていてほしいことがあります。自分の人生に責任感を持つことも大事ですが、責任感に駆られて自分の選択に辛くなったときは、神様を頼ってほしい、ということ。確かに自分で自分の道を選んではいませんが、どうしてもなく辛いこともこれからきっと起こります。そんな時に「これは神様の計画だから大丈夫！」と、自分のせいじゃないと思えて、気が楽になります。これから先、自分で進路を決めるなど、多くの選択の場面に会おうと思います。そんな時、神様の事を思い出してみてください。きっと心が軽くなります。私が英和に入って得たものは、このことにあると最近自覚しました。

最後になりますが、私は6年間英和に通えて本当に幸せでした。勉強以外にもそれぞれの大切なものが見つかるはずです。私は性格も丸くなったし、考えも大人になったし、何より気の合う友人に出会えたことはかけがえのない財産です。卒業する時に英和に入ってよかった！と思えるよう、毎日の学院生活を送ってください。高二是まだ1年あるし、中1は5年もあります。十分間に合います！あっという間の英和での日々、感謝の気持ちを忘れず思いっきり楽しんでください！今日のこの言葉が、頭の片隅に残って、あーこんな先輩いたなーとふとした時に思い出してくれたら嬉しいです。

お祈りします。天にいらっしゃいます父なる神様。今日こうしてお話する機会をいただけたことに感謝します。もうすぐ6年間の英和生活が終わります。先生方、同級生、先輩、後輩など、私と出会ったすべての方々にありがとう、と大きな感謝を伝えられますように。また、世界中の人が自分と他者を大切に、一人一人の幸せが訪れますように。この祈りを主イエスキリストの御名によってお祈りします。アーメン。

(青山学院大学文学部史学科 入学予定)